



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
 e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp



会長／竹村 利之 幹事／粕尾 正康 クラブ会報委員長／中野 欣哉
 SAA／松本 克幸 副 SAA／高井 亘



第1414回例会2017年（平成29年）1月6日（金）

人類に奉仕するロータリー Rotary Serving Humanity

会長挨拶

竹村利之会長

『若い力』

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新年を迎えられたことと思います。今年もどうぞよろしくお祈りします。

私は我が家の恒例行事でもある正月の二日三日は、箱根駅伝の観戦で過ごしました。大学生が死力を尽くして競い合う姿を見て、彼らの挑戦心と気概に大いに元気づけられました。そしてこういう若者達がいるということが大変心強く、日本の将来は彼らが担ってくれるという思いを強くしました。

汗まみれのタスキを次の走者（仲間）に繋ぎながらゴールする駅伝に大変感動を受けました。2020年の東京オリンピックでは、この中からマラソン（長距離界）の選手が生まれることは間違いないと思いました。優勝した原監督もそう言っておられました。

今から90年前（大正9年）金栗四三氏によって誕生した箱根駅伝は、戦争中の5年のブランクを経て、戦後意気消沈した学生達を活気づけようと復活されたと、明治生まれの義父から聞いております。それは簡単なものではなく、当時のスポーツ界のパイオニア達の果てしなきエネルギーが実を結んで、現在の駅伝へと継承されたのでしょう。

困難な時代を乗り越え築かれた駅伝を見るにつけ、日本は本当に安全で平和な国だと思います。改めて穏やかな今の日本に感謝した新年でした。

新年乾杯

音頭 柄澤重登さん

本日出席した中で最年長ということでご指名頂きました。クラブにとっては30周年を終えて新しい年が始まったということで2017年は記念すべき年であると思います。それぞれの企業の繁栄、メンバー、ご家族の皆様のご健康を祝して乾杯！！

1月のお祝い

おめでとうございます

- <結婚誕生記念> 中村千夏さん
- <夫人誕生記念> 青木弘美さん 布施悦子さん
 柄澤良子さん 桐澤まり美さん 太田和枝さん
 竹村正代さん 滝澤秀子さん 若麻績純子さん
- <会員誕生記念> 柄澤重登さん 坂本千尋さん
 鈴木都美雄さん



新会員ご挨拶

川橋昭義さん



もう少し奉仕活動をしたいと思い浪江ロータリークラブから当クラブへと入会させて頂きました。今後ともよろしくお祈りします。

1/6 (会員54名) 出席38名前々回修正出席率93.75%

- ・竹村利之さん・粕尾正康さん☆明けましておめでとうございます。残り6ヶ月間色々と皆様に面倒をかけると思いますが宜しくお願いします。
- ・綿貫隆夫さん☆今年は体調も良く楽しいロータリーになりそうです。今年は孫7名、ひ孫3名になる予定です。
- ・南 信行さん☆明けましておめでとうございます。早速、卓話初めをさせていただきます。
- ・井上明彦さん☆Happy New Year 今年もよろしく。川橋昭義さん歓迎致します。
- ・川橋昭義さん☆おめでとうございます。入会させていただきます。ありがとうございます。
- ・竹内喜宜さん・伊東義次さん・高橋英司さん
- ・小林健治さん・瀧澤 聡さん・野村泰久さん☆新しい年、今年もよろしくお祈りします。
- ・宮原友昭さん☆明けましておめでとうございます。今年一年皆様が健康に過ごせますように。

・合計 39,000円 ・スヌーピー 5,832円
 ・累計 438,342円

2017～2018年度役員・理事・委員長の発表

会長	: 南 信行
直前会長 (役員)	: 竹村利之
副会長 (役員)	: 北川原健
会長エレクト、理事・クラブ奉仕委員長	: 布施慶典
理事・職業奉仕委員長	: 伊東義次
理事・社会奉仕委員長	: 井上明彦
理事・国際奉仕委員長	: 滝澤 功
理事・青少年奉仕委員長	: 野村泰久

(以下委員長略)

プログラム: 村田秀雄	クラブ会報: 西沢 徹
例会運営: 坂本千尋	会員家族: 青木 宏
R財団: 竹内喜宜	森林(もり): 小山浩太郎
幹事(役員): 若麻績信昭	副幹事: 瀧澤 聡
会計(役員): 福澤 寛	会計監査: 小出昭雄
SAA(役員): 飯田弘己	副SAA: 宮原友昭



1年間このメンバーで運営させていただきます。どうぞよろしくお祈り致します。

- ・サントスさんのネパールの夕べについて長野放送局が当日のイベントを上手にまとめてくれました。下のリンクでご覧になることができます。
<https://goo.gl/photos/monSbpGhVj3FvUH56>

会員卓話 南 信行 会長エレクト

「創立30周年を向えて」



この1月30日で創立30周年となります。「初心忘るべからず」は周年の年ごとに改めて創立時の想いを振り返り、次の20年、30年に向けて進む節目の時だと思います。

我がクラブは1987年長野県が愛知県から分離独立するため県内に新クラブを誕生させることが急務の中、長野ロータリーのスポンサーにより、わずか4ヶ月間で移籍会員山口文男さん、柄澤重登さん、滝澤 功さんを含め50人を集め長野市内第5番目のクラブとして創立されました。

初代会長の中山富太郎さんの掲げた「地域に根を下した地域に貢献する、明朗にして品位のあるクラブ」は、今も我がクラブのモットーであります。また中山さんは「ロータリークラブは生涯学習の場であるとともに、倶楽部=倶楽^{どもに}楽しむ場であって欲しい」と言われ、会員相互のコミュニケーションを大切にされて来られました。その伝統は今も引き継がれていて、他のどのクラブよりも、風通しの良い所が私は好きです。

20周年の年誌に故山田友雄さんは過去を振り返り「創立入会時、当時の長野R C会長の鈴木辰四郎(日赤病院院長)さんに、心得についてお尋ねしたところ、①会費を払う事②例会に出席する事③頼まれたらノーと言わない事ですと教えられ、以降この三原則を守りながら私も20年が過ぎました」と書かれております。又「私たちが例会に出かける時、少しでも心のときめきを感じよう、そして自由に発言出来るクラブでありたいと努め、新会員や若い会員が早くクラブに馴染めるよう古参会員が声かけをしてロータリーの基本を学んでもらいながら結束を深めて参りました」ともおっしゃっています。

二人の名誉会員のお言葉は、私たちの心に響きます。永遠に守って行きたいと思えます。